

しすい

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171
<http://www.town.shisui.chiba.jp/contents/gikai/>



**11月臨時会
12月定例会のあらまし
1月臨時会**

詳細については11ページ

12月定例会は12月4日から10日間の会期で開催されました。
町長より議案15件が提出され、審議した結果それぞれ原案のとおり可決・承認されました。
一般質問は11名の議員が、2日間にわたり行いました。
また、臨時会が11月15日、1月29日に招集され、それぞれ提出された議案は原案のとおり可決されました。



**11月臨時会
12月定例会
1月臨時会**

平成24年度各会計補正予算などを可決・・・P2~P3

町有施設の有効活用と施設管理の取組状況についてなど 行政報告 P4

町政を問う 議員11名が一般質問・・・P5~P11

酒々井町民の歯と口腔の健康づくり
推進条例の制定について

一般会計補正予算など15議案可決



酒々井プレミアム・アウトレット内に設置予定の酒々井コミュニケーションセンター

※イメージですので実際と異なる場合があります。

平成24年12月議会で可決された議案は次のとおりです。

- ◇酒々井町民の歯と口腔の健康づくり推進条例の制定について
歯・口腔の健康は、全身の健康を保持増進するための重要な要素となっており、幼児期から高齢期まで各ライフステージを通じて継続的に取り組む必要があります。
平成23年8月に「歯科口腔保健の推進にかかる法律」が制定され、それに先立ち平成22年4月には「千葉県歯・口腔の健康づくり推進条例」が制定されており、当町でも制定するものです。
- ◇酒々井町水道事業の剰余金の処分に関する条例の制定について
地方公営企業法の改正に伴い、剰余金の処分の方法、積立金の使途について条例で定めるものです。
- ◇酒々井町水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について
水道法の改正に伴い、酒々井町水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例を定めるものです。
- ◇酒々井町指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
酒々井町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について
介護保険法等について所要の改正が行われたことにより、地域密着型サービス事業の運営基準及びサービス事業者の指定基準等について条例で定めるものです。
- ◇酒々井町ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
県の実施要領が改正されたので、改正内容に則して条例を改正するものです。
- ◇酒々井町下水道条例の一部を改正する条例の制定について
下水道法の改正に伴い、文言等の整理と併せて条例の一部を改正するものです。
- ◇酒々井町管住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
公営住宅法の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。
- ◇千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
組合の組織団体である大網白里町が、平成25年1月1日から市制を施行し、大網白里市となることから、規約の一部を改正する規約の制定について、議会の議決を求めるものです。

一般会計

◇一般会計補正予算
(第5号)

補正の主な内容は、自立支援費、子ども医療費などの扶助費の増額、大室台小学校の手摺設置工事、アウトレット内酒々井コミュニケーションセンターに設置する各種観光パンフレットの増刷及び電気料金値上げ等による公共施設や防犯街灯の電気代の増額です。

また、継続費の補正として、酒々井ちびっこ天国の経営方針を定めるため、経営診断事業を本年度から25年度までの2か年継続事業として追加するもの

です。さらに、馬橋地先の2つの橋梁の耐震対策工事について繰越明許費の追加をするものです。

特別会計

◇国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

平成25年1月から臨時職員を採用したため、それに伴う予算措置と基金積立による財産収入を計上するものです。

◇介護保険特別会計補正予算(第2号)

介護給付費等の増額に伴う補正です。

◇字の区域の廃止及び変更について

酒々井南部土地区画整理事業に伴い、住宅街区部分の小字を廃止し、また、それ以外の産業区域部分の大字を「飯積」から「飯積一丁目」、「飯積二丁目」に変更するものです。

◇町道路線の認定及び廃止について

酒々井インターチェンジ建設に伴い、町道路線の認定3路線、廃止1路線について、議会の議決を求めるものです。

議案と議決結果(町長提出のもの)

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果	
1	専決処分の承認を求めることについて	なし	原案承認	◎
2	酒々井町民の歯と口腔の健康づくり推進条例の制定について	教育民生	原案可決	◎
3	酒々井町水道事業の剰余金の処分に関する条例の制定について	経済建設	原案可決	◎
4	酒々井町水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の制定について	経済建設	原案可決	◎
5	酒々井町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	教育民生	原案可決	◎
6	酒々井町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	教育民生	原案可決	◎
7	酒々井町ひとり親家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決	◎
8	酒々井町下水道条例の一部を改正する条例の制定について	経済建設	原案可決	◎
9	酒々井町営住宅の設備及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生	原案可決	◎
10	千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	なし	原案可決	◎
11	平成24年度酒々井町一般会計補正予算(第5号)	※	原案可決	◎
12	平成24年度酒々井町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	教育民生	原案可決	◎
13	平成24年度酒々井町介護保険特別会計補正予算(第2号)	教育民生	原案可決	◎
14	字の区域の廃止及び変更について	総務	原案可決	◎
15	町道路線の認定及び廃止について	経済建設	原案可決	◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。(※)は総務・教育民生・経済建設の各常任委員会に担当分野を付託しています。

平成24年度 補正予算額 (単位:千円)

会計名	補正前	12月補正額	補正後
一般会計	5,941,715	57,297	5,999,012
特別会計			
国民健康保険	2,439,983	495	2,440,478
介護保険	978,973	37,300	1,016,273

請願の審査結果

請願番号	件名	請願者名	付託委員会	本会議の議決結果
請願第4号	学校図書館の充実を求める請願書	北総教職員組合(全教)委員長 石井昇	教育民生	不採択 ×

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

町長より3件の行政報告がありました。(要旨)

町有施設の有効活用と長寿命化等総合的な施設管理の取組状況について

現在、町有建築物の保全の視点から建物の基本的な性能である安全性、環境性及び経済性を簡便な方法により一次的に評価することを目的として、施設管理者である関係各課へのアンケートを実施し、その調査結果をもとに分析をしているところであります。

また、町ファシリティマネジメントは経営的な視点から施設運営に要するコストの最小化や施設利用効率の最大化と社会情勢の変化への柔軟な対応を図り、健全な行政運営と住民サービスの向上を図ることを目的としており、その基本的な考え方や取り組むべき方策などを示した「町ファシリティマネジメント推進基本方針」を定めていくため、現在、推進委員会及び戦略会議での検討等、策定に向け準備中です。この基本方針により全庁的にファシリティマネジメントを推進していきます。

さらに、町有施設に関する情

報を一元的に管理し、情報の可視化を図るとともに、施設間でのデータの比較分析を行い、施設管理の最適化を図ることや、施設の長寿命化を図るための基礎的な資料を作成していくなど日常的な施設管理の円滑化を目的として、「保全情報システム」を導入し、基本情報の入力に着手したところであります。

引き続き、経営的な視点から総合的な合理化を図るためにファシリティマネジメントを推進していきます。

酒々井プレミアム・アウトレットについて

当アウトレットモールは全国8カ所で展開しているチュエルシージャパン株式会社が、平成25年4月中旬に「酒々井プレミアム・アウトレット」の営業を目的として指し準備を進めているところであります。

出店までの準備状況は、本年6月29日に設置者に対し施設の配置及び運営方法について適正な配慮を行うことを目的とした「大規模小売店舗立地法」に基づく届け出が千葉県に提出されました。

また、8月4日には設置者に

より周辺住民に対し説明会が開催され、11月13日まで町において届け出内容の縦覧をしたところであります。

周辺地域の交通対策としては、千葉県道事務所、千葉県、印旛土木事務所、成田土木事務所、佐倉市、八街市、富里市、酒々井町と出店者であるチュエルシージャパン株式会社など関係者による「交通対策連絡調整会議」を組織し、各道路管理者が連携し、地域全体の円滑な交通対策に向けて調整を図っているところであります。

今後についても、周辺道路の整備など渋滞を緩和するため、千葉県をはじめ関係機関に要望するとともに、チュエルシージャパン株式会社に対しては臨時駐車場の確保を進めてもらうなど、さらに連携を図って、円滑な交通が確保できるよう努めていきます。

安全・安心なまちづくり施策について

町民の皆さまの生活環境の向上と町内業者の活性化などを目的として「酒々井町住宅リフォーム補助金制度」を平成23年6月から開始しました。今年度は44

件の交付を予定しており、主な内容は屋根や外壁等の修繕・塗装、高齢化に対応したバリアフリー化、台所、浴室及び便所等のリフォームとなっております。

また、本制度では耐震シェルター化の工事も対象としており、来年度も継続していく予定なので、町民の皆さまに広く周知していきたいと考えています。

次に、地震時における木造住宅の安全性を高め、災害に強いまちづくりを推進するため、「酒々井町木造住宅耐震診断費補助金制度」及び「酒々井町木造住宅耐震改修工事費補助金制度」を平成24年4月から開始しました。11月末時点での交付数は耐震診断14件、耐震改修工事10件となっており、今年度の実績は、昨年度に実施した無料耐震相談及び昭和56年以前に建築された住宅への個別訪問の効果であると考えています。

来年度も両補助金制度を継続する予定なので、町民の皆さまに木造住宅の安全性を高めることへの関心を持っていただくとともに、補助金制度を活用していただくよう、広く周知していきたいと考えています。

「コンパクトシティ酒々井まちづくり」、「子育て支援」について

宮城県七ヶ浜町議会が視察来町

11月19日(月)、宮城県七ヶ浜町議会議員6名が、「コンパクトシティ酒々井まちづくり」、「子育て支援」に関する調査研究のため来町されました。

町長及び町担当者から説明後、活発な意見交換が行われました。



宮城県七ヶ浜町議会視察来町

町の考え

そこが知りたい



一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。

12月定例会の一般質問は、12日と13日の2日間に11名の議員が教育問題や南部地区開発関連など、行政全般にわたり今後の対応策などについて、活発な質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町立図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、インターネットでもご覧いただけます。

12月定例会の会議録は、3月上旬以降、閲覧することができます。

問

被災地に恥じない復興予算の活用を

答

防災・減災などの事業を中心に検討していく

御園生 浩士 議員

問 国では、被災地の復興とかけ離れた予算が計上され、批判されているが、町には、千葉県から「がんばろう！千葉」市町村復興基金交付金という大切な事業費が交付された。被災地に恥じない使い方として、町はどのような事業に活用するのか伺う。

副町長 復興に向けて新たに行うソフト事業などを対象としており、平成24・25年度の2年間交付される予定である。町では「酒々井町東日本大震災復興基金条例」を制定し、今年度1千900万円が交付され、当基金に積み立てており、平成33年度までの10年間で復興に向けた事業に活用していく。活用等については、検討中であるが、町民の安全・安心に資することを目的とした防災・減災に関連する事業などを中心に、町経済の活性化対策なども含めて、広く検討していきたい。

町内の交通体系と周辺の環境整備について

問 酒々井町総合交通政策会議が設置されたが、何を議論したのか伺う。また、「酒の井」を時代と文化を肌で感

じられる憩いの場として整備ができないか。印旛沼周辺には、農業・商工業者を活性化するため、「道の駅」などの整備を検討できないか併せて伺う。

副町長 酒々井町総合交通政策会議は、まだ開催に至っていないが、現在、見直し作業を行っている酒々井都市マスタープランの将来交通量の推計などを勘案し、速やかに会議を開催したい。

町長 現在、商工会で「酒々井町地域経済活性化提案型事業委員会」を設置し、道の駅について検討しているが、実現のためには、農産物の安定供給ができるかなど、農商工の共通認識と協働体制が重要であり、委員会で引き続き検討を重ねていきたい。また、「酒の井」周辺などの整備については、町全体に人を循環させることになので、検討していきたい。



地名の起源「酒の井」

問 JR酒々井駅自由通路の修繕とハト対策を

答 今議会に補正予算を計上した

金塚 学 議員

問 アウトレットの開業等で来町者の増加が見込まれる中で町の玄関口としてJR酒々井駅と京成酒々井駅があるが、自由通路の改修や駅前広場の修繕計画があるのか伺う。

町長 両駅は、町の玄関口として相應しい「顔」づくりが必要である。手始めにJR酒々井駅前ロータリーの植栽について、美観を高めるため植替工事を実施する。また、JR酒々井駅自由通路に設置しているからくり時計の修繕やハト対策、監視カメラ設置などの経費を今議会に補正予算で計上した。

子育て支援について

問 ① 中学校3年生までの通院費に対する助成計画はあるのか伺う。

町長 ① 現在、進めている平成25年度当初予算編成作業の中で検討している。

安全・安心に暮らすための対策について

問 ふじき野地区の街区公園にトイレの設備がないが、整備計画があるのか伺う。

町長 ふじき野地区にある「うるおい公園」で検討している。

防災対策について

問 避難所の運営方法等の確認のためにも町の総合防災訓練が必要と考えるが、計画はあるのか伺う。

町長 防災訓練は、現在、自治会等が

中心となり、実施している地域に対しては町として協力している。できるだけ多くの区、自治会、自主防災会において訓練が実施できるよう各地域への働きかけを行うとともに、町としての防災訓練の実施を検討していく。

町長 ② 社会保障と税の一体改革関連法案が成立したが、増税開始の平成26年4月に3パーセント程度保育料の値下げを検討してはどうか伺う。

町長 ② 町の保育料は、児童福祉法に基づく国基準の85%程度に設定しているが、社会保障と税の一体改革により児童福祉法が改正されることから、今後の国の動向などを踏まえて見直しを研究していきたい。なお、消費税の増税に伴う激変緩和策については、この改正を見通す中で可能性を検討していきたい。

問 公約の中学3年生までの医療費助成の実施を

答 平成25年度当初予算編成作業の中で検討している

那須 光男 議員

問 先の町長選挙において、町長は「中学3年生までの医療費の助成」を公約した。入院費については4月より助成が開始されているが、通院費についてはいまだに実現されていない。中学3年生までの医療費助成は、選挙公約の大きな目玉であった。また、平成23年12月に各戸に配布された小坂後援会報にも、幸福社会の実現に向けて「子ども医療費の助成(中3まで)拡充」とはっきり明記されている。町長の任期は残りも1年弱となり、公約を守るためには平成25年度当初予算に通院助成費を計上すべきである。公約を守るためにも来年度当初予算に計上するのか、町長の決意を伺う。

町長 通院費の助成については、現在進めている平成25年度当初予算編成作業の中で検討している。

南部開発について

問 アウトレットオープン後の交通渋滞については、多くの町民の方々が大変危惧している。6月議会では、「酒々井町総合交通政策会議の設置」を進めていると報告があったが、これまで一

度も機能していない理由は何か伺う。

町長 まちづくり課長 酒々井町総合交通政策会議を開催しない理由は、根幹となる将来の交通量や道路網の配置の基本がしっかりしないと先に進めないことが理由であり、現在、鋭意作業を進めている。アウトレットの渋滞対策については、県関係市町の道路管理者・チェルシージャパンと調整会議を組織し、会議を行っている。その中で繁忙期の渋滞をどのように緩和できるか、場外駐車場や誘導看板の適切な設置、誘導員をどのように配置して市街地に入れないようにするかなどを議論している。

町長 誘導員をどのように配置して市街地に入れないようにするかなどを議論している。



交通渋滞が予想される国道296号

問 平成25年度の予算編成方針は

答 マイナスシーリングによる予算編成を行っている

内海 和雄 議員

問 ① 平成25年度予算編成方針について伺う。

② 重点事業については、どのように検討されているのか伺う。

③ 23年度決算で出された議会からの意見等はどうか反映されているのか。

町長 ① 財政収支は厳しく、一部を除き24年度と同レベルに近づけるため、マイナスシーリングによる一般財源枠配分方式にて予算編成を行っている。

② 持続可能なまちづくりの推進を柱に、少子高齢化社会への対応などに十分配慮していきたい。

③ 現状の把握や対応方針について各担当課に指示を出した。

都市マスタープランについて

問 平成23・24年度で、都市マスタープランの見直し作業を行っているが、重点的に行っている点について伺う。

町長 広域的な立地条件や多彩な交通ネットワークを活かした都市づくりなど4点に重点を置いている。

南部開発について

問 ① 周辺道路の整備及び地元対策については、早急に行うべきと考え

が、町の考えを伺う。

② 残っている土地利用について、町からの指導や助言はどこまで進んでいるのか伺う。

まちづくり課長 ① ICアクセス道路整備を最優先に進めてきた。ご質問の件は、今後整備を検討していく。

副町長 ② 一般地権者の支援策として、「酒々井南部地区新産業団地用地登録制度」により、一部の土地に複数の企業から引合の申し出があり、地権者と交渉を行っている。URの事業地は、企業誘致の作業が行われている。

町道の整備について

問 町道4路線(伊籾・馬橋・伊籾新田・上岩橋)の整備計画を伺う。

町長 国道51号から浄泉寺方面へ向かう道路(伊籾)は、26年度に盛土工事等を予定している。飯沼本家から県道

成東酒々井線へ向かう道路(馬橋)は、25年度に拡幅工事を行う。富里市(ベイシア方面)へ向かう道路(伊籾新田)

は、地元の合意が得られなかった。バスマン脇(上岩橋)は、継続的に用地買収に努めている。

問 インターチェンジ開設に伴う渋滞対策の整備見通しは

答 開設に併せ、アクセス道路を整備している

川島 邦彦 議員

問 IC供用開始に伴い渋滞が懸念される箇所の現状と見通しを伺う。

① IC出入口から連結する国道296号交差点及び右折レーン設置

② 国道296号東酒々井入口交差点の右折レーン設置

③ 県道富里・酒々井線交差点及び連結する町道整備

④ 整備が遅れる場合、整備完了までの渋滞対策等の有無及び方法

⑤ IC出入口から周回するアクセス道路の全体的な整備完了見通し

まちづくり課長 ① 一部未取得用地があるため、現在の変則十字路に右折レーンを整備し、信号機を設置した暫

定形の交差点を予定している。

② 現在、用地交渉を行っている。

③ 平成25年3月末の供用開始に向けて進めている。

④ IC供用に併せ、アクセス道路を整備しているため、現時点で遅れることはないと考えている。

⑤ 平成25年3月末を予定している。県及び都市再生機構から聞いており、町もその時期を予定している。

災害時の体制と情報伝達について

問 災害時の体制と情報伝達について、とりわけ行政側の対応を伺う。

① 携帯電話等への緊急情報メール配信サービスについて、休日や夜間も対応できる情報ツールとして立ち上げた

いとしていた検討状況を伺う。

② 災害時における災害対策本部は、本部体制だけでも訓練を実施すべきではないか。また訓練により問題点を発見できるのではないか。

③ 町民への情報伝達等の方法あるいは考えを伺う。また、町民の安否確認の収集方法を併せて伺う。

④ 要援護者への対応を伺う。

町長 ①② メール配信サービスを検討したが、タイムリーな情報提供は難しいため、緊急時の職員招集用として活用していく。また、現在、防災計画を見直しており、これに沿って災害対策本部設置訓練等を実施していく。

③④ 防災行政無線等により、広報活動を行う。安否確認は、自治会や区、町職員等で行い、要援護者には、あらかじめ定められた避難援助者が協力して、避難支援を行うこととしている。

問 尾上飯積線の整備計画は

答 南部開発区域界から東関東自動車道下までを計画している

齊藤 博 議員

問 ① 平成25年度から始める尾上飯積線の整備は、平成18年度の計画では約21億円の大規模事業だが、総事業費及び完成時期等、全体の計画について伺う。

② 町長は南部開発事業の見直しや費用対効果について、町民に対して説明責任を果たしていない。唯一、公表した「南部開発事業からの税込」については9月議会で「6億円」に下方修正したが、その理由を説明しないのは無責任である。町長は「先進技術的な企業を誘致したい」と答弁したが、今の経済状態では大変厳しいと考えるが、何らかの感触があつてのことか。企業誘致を含め「6億円」が実現する時期をどのように見込んでいるのか伺う。また、「南部地区新産業団地用地登録制度」にはどのような企業から何回くらの引き合いがあつたのか。都市再生機構所有地の残地分については、共同して企業誘致していくとのことだが、行政側から足を運ぶなど具体的な誘致活動はどのようなことをされたのか伺う。

まちづくり課長 ① 平成18年度当時の計画は、南部開発区域界から国道296号までの1,150mであつたが、現在、町の実施計画において、南部開発区域界から東関東自動車道下の現道との接続区間280mを計画しており、この事業は、国の補助金を考えている。事業費と完成時期は、今後精査していく。また、その後の事業は、財政状況を踏まえてのこととなるが、交通安全対策の観点から、東関東自動車道下の現道から国道296号までの歩道の整備が考えられる。

町長 ② 酒々井南部地区新産業団地における税収見込みは、数年を経て全ての事業が完了し、団地内の事業運営が順調になされた時点では相当の収入が見込まれると思つている。企業誘致については、まだ造成が終わつていない。スピードを求める企業としては、いつ造成が終わるのかという話もあるので、町としては造成の状況を見ながら進めて行きたい。また、墨の工業団地に企業が所有している土地もあるので、ここを活用していただきたい。

問 JR酒々井駅自由通路は美観を損ねている

答 段階的な補修をするとともに、監視カメラを設置する

佐藤 修一 議員

問 ① 町内幹線道路や住宅団地内を走る町道の多くの箇所が横断歩道の白線枠やセンターラインの白線が消滅したり、消えかかっている箇所が多く見られ、歩行者や運転者からも指摘されている。横断歩道は、歩行者の安全確保は勿論、児童の登下校時の安全帯もある。事故を防ぐ予防措置として明確に見える白線枠の復旧が早急に望まれる。公安委員会が所管との意見もあるが、町民が毎日利用している生活道路であり、所管の枠を超えて直接公安委員会に交渉する等、町として前向きに対応すべきと思つて町長の考えを伺う。

② JR酒々井駅の自由通路は、東酒々井と中央台を結ぶ重要な歩行者専用通路であり、多くの町民が利用している。この通路には故障して動かなくなつたカラクリ時計が長期間放置され、また、トイレ入口に剥げかかつた案内表示もあり美観を損ねている。アウトレットの開業により外部からお客様を迎える酒々井町として駅周辺の環境整備や安全対策等、総合的に対策を考へるべきと思つて町長の考えを伺う。

町長 ① 一時停止線等が消えかかっている箇所が町道だけに限らず国道、県道にも多く見受けられるので、補修が必要と思われる箇所を確認し、補修要望を佐倉警察署に行つていく。また、町道のセンターライン等の区画線については、白線が消滅しているところも見受けられるので、調査等を行い、白線の引き直しを進めていきたい。

② JR酒々井駅自由通路は、経年劣化による壁面の汚れ等があるので、美観に配慮し、段階的な補修を実施していきたいと思つている。動かなくなつたカラクリ時計については、イタズラにより故障したものであるので、監視カメラ設置による防犯対策と併せて修理を予定している。また、トイレ部分の壁面の改装等については、自由通路の壁面補修と併せて検討していきたい。



JR酒々井駅自由通路

問 アウトレットの雇用は、地元優先してもらおう働きかけを

答 情報提供など、できる限りの対応を行う

原 義明 議員

問 来春にオープンされるアウトレット進出企業は既に各社内におき採用募集活動がスタートした様子である。町の活性化に向けた事業であり、町のマスコットキャラクターも決定し、アウトレットオープンの待たれる現在に至り、いよいよ活力ある町への前進を期待するが、基本的には活力ある町への推進はまず、酒々井町民が全て幸せであることを第一であると考え、現在諸事情厳しい社会故、今回アウトレット雇用につき地元住民優先採用への要望は限界あると理解しているが、それでも行政から各企業に対し可能か否かを見解伺う。

る限りの対応を行い、町民の雇用対策につながるよう努めていく。

町職員の定年見送りと再任について

問 高齢化社会を代表とする社会構造の変化に伴う種々のシステムやニーズの変化が目まぐるしい現在の社会情勢と風潮の中、今まで当然であった60歳定年につき一般企業も各内部におき様変わりして行く様子も情報として見聞きしており、町職員についても定年見送りとまたその後の再任用等についても検討する意向やそれらに伴うシステム作成ぐらいされるのか見解を伺う。

町長 公務員の定年延長を段階的に65歳に引き上げるための検討を行ってきたが、民間企業の多くが定年年齢の引上げに慎重であり、再雇用により対応していることを踏まえ、当面、定年延長を見送り、現行の再任用制度を拡充することにより対応することとなった。詳細については、現在国で検討がなされている段階であるため、今後の検討状況を注視し、適切に対応したいと考えている。

問 保育料の引き下げを

答 法が改正されるので、国の動向を注視する

地福 美枝子 議員

問 ① 保育料は、税の階層別を細分化して引き下げるときと思うが如何か。
② 保育園給食について、3歳以上はご飯を持参している。温かいご飯を町で用意するべきと思うが如何か。

町長 ① 保育料は児童福祉法に基づく国基準に準じて設定しているが、社会保障と税の一体改革により児童福祉法が改正され、平成27年10月に施行されるので、国の動向を注視したい。
② 主食の提供については、今後の保護者のニーズや国の制度改正の動向を踏まえ、引き続き検討していく。

問 就学援助について次の点を伺う。
① 収入額の目安等を入れ、分かりやすい制度説明をすべきと思うが如何か。
② クラブ活動費等が就学援助の対象となったが、実施状況を伺う。また、武道が必須化となり、胴着等の費用も支給されるが、実施状況を伺う。

③ 電車やバスを利用している児童生徒には、義務教育無償の観点から町が費用を負担すべきと考えるが如何か。
学校教育課長 ① 町のホームページや入学説明会、各学校の学校だよりに掲載して周知している。
② 平成23年度は、中学校のクラブ活動費として14名に支給した。また、柔道着は、学校に有るものを使用しているので、保護者負担はない。
③ スクールバス関係の予算を計上し、保護者の負担軽減を図っている。

中川の改修について

問 ① 改修の状況及びその際に放射能測定を行ったのか伺う。
② 今後の根本的な改修をどのように計画しているのか伺う。

上下水道課長 ① 地震の影響で、一部損傷を受けたため、修理を実施した。また、放射性物質の検査を行った結果、問題はなかった。
町長 ② 費用対効果からして上流への調節池の設置が良いと考えている。

ブリニエール酒々井駐車場について

問 ① 隣接する野球場に駐車場の増設はできないのか伺う。

② 中央台2丁目と4丁目境の都市計画道路を活用しては如何か。

町長 ① ② イベント時は、野球場等を駐車場として活用している。

問 生徒の訴えもあつた通学路の危険箇所の解消を

答 安全性を高めるため、補正予算を計上した

竹尾 忠雄 議員

問 ① アウトレットのオープンが4月18日となっているが、住民の安全や通学路の安全を確保するために、町はどのような道路整備を進めているのか。
② 「酒々井町総合交通政策会議」はまだに開催されていないが、このことに町長は責任を感じているのか何う。
③ 通学路の安全確保について、平成22年度の中学生模擬議会で「小川ピーナツから上郷地区の水田の間を抜ける町道は、歩道がなく、ガードレールもないので、車が通るたびに怖い思いをしている」との訴えがあつた。学校からも危険箇所と言われている。私も何度となく質問し、今回一部であるが予算が計上されたことは評価できるが、工事の内容を伺う。また、反対側の部分についても、地権者の理解をいただき、子供達の安全を守るべきと思うが、町長の考えを伺う。

副町長 ①② 酒々井町総合交通政策会議はまだ開催に至っていないが、現在、見直し作業を行っている酒々井町都市マスタープランの将来交通量の推計等に酒々井南部地区交通対策連絡調整会議の検討結果を加え、速やかに会議を開催し、検討していきたい。なお、4月までに行おうとする事業は、場外駐車場の設置、誘導看板の設置及び誘導員配置の準備等を行う。
まちづくり課長 ③ 小川ピーナツ脇からバーミヤンに抜ける町道の幅員が狭くなる両側が農地の箇所について、一部路肩の用地があることから、これを舗装し、ガードレールなどで区分けし、歩行者の安全性を高めたいと考えており、その整備費を補正予算として今議会に提出した。

給食の残さについて

問 学校給食の残さいは、清掃工場で焼却されているが、残さいを堆肥化し、再利用することを提案する。八街市、白井市、印西市では再利用している。是非、検討すべきと思うが如何か。

町長 残さいの堆肥化については、住民ニーズを踏まえ、研究していく。なお、学校では、正しい食習慣等を形成できるように、食育指導を展開している。今後も心身の健全な発達のため、しっかりと給食を食べるよう指導していく。

問 小中学校に発電機や防災鍋を置くべき

答 検討する

江澤 眞一 議員

問 ① 地域防災計画修正業務の最終年度であるが、進捗状況について何う。
② 酒々井町耐震改修促進計画については、今年度耐震診断50件、耐震改修30件の予算化をしているが、それぞれの利用状況について何う。また、来年度の事業計画についても何う。
③ 町内の小学校と中学校に発電機と防災鍋を置くべきと考えるが如何か。

町長

① 現在、防災懇談会等での検討を行い、地域防災計画素案の作成を行ったところであり、今後、パブリックコメント等を実施し、防災会議を開催し、修正を行う予定である。さらに、修正された防災計画に基づき職員の防災対応を基本としたマニュアルの作成や地域防災計画概要版の作成等を行っていく。

町長

② 11月末時点で、耐震診断は14件、耐震改修は10件の交付決定を行っている。来年度の事業計画については、今年度の実績を踏まえ、予算化していきたいと考えている。

③ 小中学校は、災害時の避難場所としており、千葉県「災害時における

避難所運営の手引き」により、非常用電源や炊き出し用具などは、備蓄に努めることとされているので、防災用資機材の整備の中で検討していく。

町体育館について

問 町体育館については、3月定例会で町長より設置をしたいとの答弁がなされたが、来年度の計画を伺う。また、設置場所について町の考えを伺う。

町長

町体育館の建設については、利用団体から強い要望をいただいているところである。また、酒々井町体育館検討委員会からも整備することが必要であるとの提言をいただいている。この建設には多大な費用が必要となるが、来年度には、役場内には、建設検討委員会を設置し、財源の検討や設置場所を含めて、検討に入りたい。



昭和41年に建設された町体育館
現在は安全面から休館中

その他の質問

御園生活士 議員

- ・各学校等の防犯カメラについて

金塚 学 議員

- ・教育環境の整備について

那須 光男 議員

- ・通学路の安全について
- ・東電の賠償について

齊藤 博 議員

- ・決算委員会における要望事項への対応について
- ・福祉施策について
- ・防犯活動について

佐藤 修二 議員

- ・南部地区開発関連について

竹尾 忠雄 議員

- ・中学生模擬議会について

江澤 眞一 議員

- ・認定こども園について

議員自治 研修会に参加

11月22日(木)、中央公民館において、印旛郡町村議会議長会主催による、印旛郡町村議会議員自治研修会が開催されました。

印旛郡内2町の議員が一同に集まり研修が行われ、政治ジャーナリスト泉宏氏より『混迷政局を読む』と題し、解散攻防の舞台裏と総選挙情勢分析について講演がありました。



政治ジャーナリスト 泉 宏氏



印旛郡町村議会議長会会長として挨拶する越川議長

平成24年11月臨時議会で可決された議案は次のとおりです。

◇工事請負契約の締結について
インターチェンジアクセス道路整備工事について、制限付き一般競争入札を実施した結果、東豊土木工業株式会社が落札し、同社と仮契約を締結したので、議会の議決を求めるものです。

原議員が逝去



故 原義明議員

病氣療養中でありました原義明議員（享年71歳）が、1月13日に逝去されました。

故原義明氏は、平成11年に町議會議員に初当選以来、

4期13年8ヶ月にわたり、町政の推進に尽力されるとともに、議会運営委員長や総務常任委員長として、議会の円滑な運営や委員会の活性化に精力的に取り組まれました。
なお、1月21日に執り行われた告別式では、故人を偲び、越川議長が議会を代表して弔辞を読み上げ、故人のご冥福をお祈りしました。

議案と議決結果（町長提出のもの）

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果
1	工事請負契約の締結について	なし	原案可決 ○

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

平成25年1月臨時議会で可決された議案は次のとおりです。

◇酒々井町議会議規則の一部を改正する規則の制定について
地方自治法の改正により、本会議においても委員会同様、公聴会の開催や参考人招致ができることとなったため、会議規則の改正を行うものです。
◇酒々井町議会委員会条例の一部を改正する規則の制定について

これまで委員会に関しては、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会が条建てされていましたが、地方自治法の改正により一つの条文に統合され、委員の選任等に関する事項が条例に委任されたことに伴い、委員会条例の改正を行うものです。

党派が結成されました

町議会議会派規定に基づく党派結成届が、「しすい会」代表 高崎長雄議員から提出され、受理されました。

〈所属議員〉

高崎長雄 議員
小早稲賢一 議員
越川廣司 議員

議案と議決結果（町長提出のもの）

番号	件名	付託委員会	本会議の議決結果	
1	酒々井町議会議規則の一部を改正する規則の制定について	なし	原案可決	◎
2	酒々井町議会委員会条例の一部を改正する規則の制定について	なし	原案可決	◎

◎は全員賛成、○は賛成多数、×は賛成少数です。

3月定例会のお知らせ

次の定例会は3月上旬に開会する予定となっております。会期の概要は、2月26日の議会運営委員会で決まります。会期などについては、議会運営委員会の開催日以降、議会事務局までお問い合わせください。
なお、会期の概要が決定したら、町議会のホームページやポスターでもお知らせしていきますのでご覧ください。
皆様の傍聴をお待ちします。
詳しくは議会事務局まで。
☎496・1171
(内線251、252)

故 原義明議員の
ご冥福を心から
お祈りいたします。

酒々井町議会
議員一同

